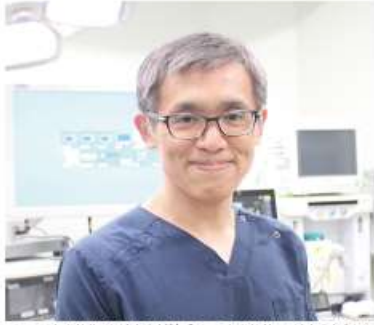


# 日帰りも対応可能の腹腔鏡手術



▲日本消化器外科学会認定消化器外科専門医の北園 巖先生

新成病院(しんせいびょういん)

☎099・254・3332

<https://sinsei-hp.or.jp/>

リビング医療ホットライン

外科

鼠径ヘルニアをTEP法で治療再発を起こさない手術に努める

男性の中でも70代に多く見られる鼠径(そけい)ヘルニア。足の付け根など鼠径部の皮膚が隆起し痛みも伴う病気です。「いわゆる脱腸です。おなかの内側の腹壁に500円玉くらいの筋肉の隙間ができ、皮膚の下に腸が飛び出してきます。手で押さえたり体を横にすると元に戻りますが、おなかに力が入って腹圧がかかると再度膨らみます」と、新成病院の北園巖先生は説明します。

同院では、鼠径ヘルニアの治療は腹腔鏡手術が主で、メッシュ状の人工膜を腹壁の穴に当て、新しい壁を作ります。「皮膚側から腹膜まで切って内側から人工膜を挿入するTAPP(タップ)法が一般的ですが、当院では腹膜を切らずに腹膜の外側で人工膜を当てるTEP(テップ)法を採用しています。難易度は高くなりますが、器具が臓器に触れる心配がないため患者さん

の負担が軽減されます」2018年10月から2024年4月30日までの鼠径・大腿・臍(さい)ヘルニアの腹腔鏡手術件数は189件。「手術の後に特に私たちが気を張っているのが再発。人工膜がずれるとヘルニアが再発します。当院では術後にも患者さんに連絡し、経過を聞き取り。再発を起こさない治療に努めます」と北園先生は強調します。

手術時間は1時間〜1時間30分。通常は泊りで退院ですが、希望者には日帰りの手術も対応。「全身麻酔の手術で全身的な管理が必要なので、朝から夕方までかかります。目覚めて痛みがなければ、日帰りもできます」

「その他、下肢静脈瘤(りゅう)や持核の硬化術なども日帰りが可能です。」新成病院は、市電2系統「中洲通」徒歩6分の場所にあります。▼鹿児島市上荒田町16-30 P有



診療時間	月	火	水	木	金	土	日	祝
8:30~12:30	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
14:00~17:30	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎

- 診療科目/外科、内科、循環器内科、消化器内科、糖尿病内科、心臓血管外科、消化器外科、肛門外科、内視鏡外科、リハビリテーション科、麻酔科(宇都光伸)
- 休診日/土曜午後、日曜・祝日